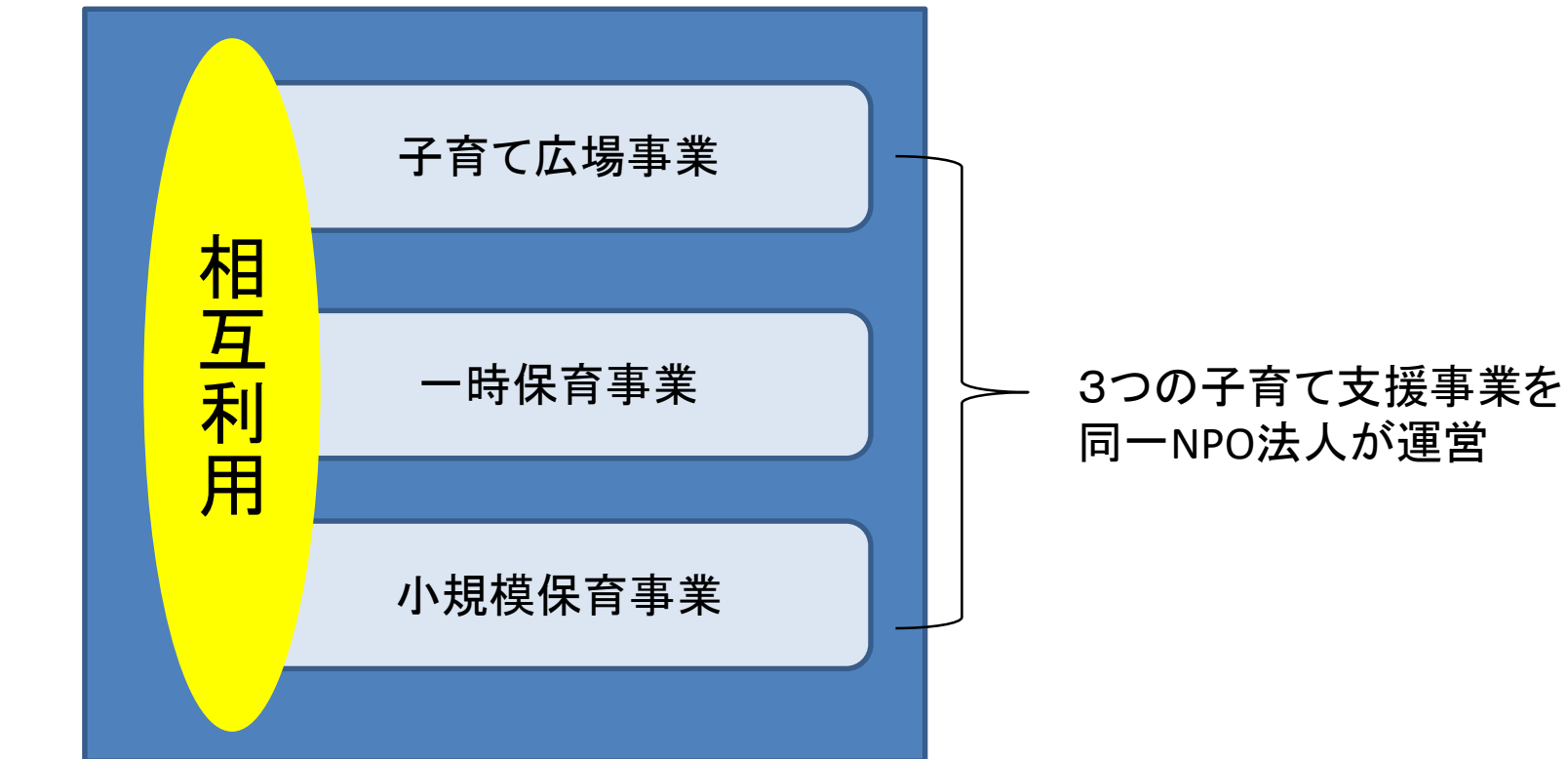
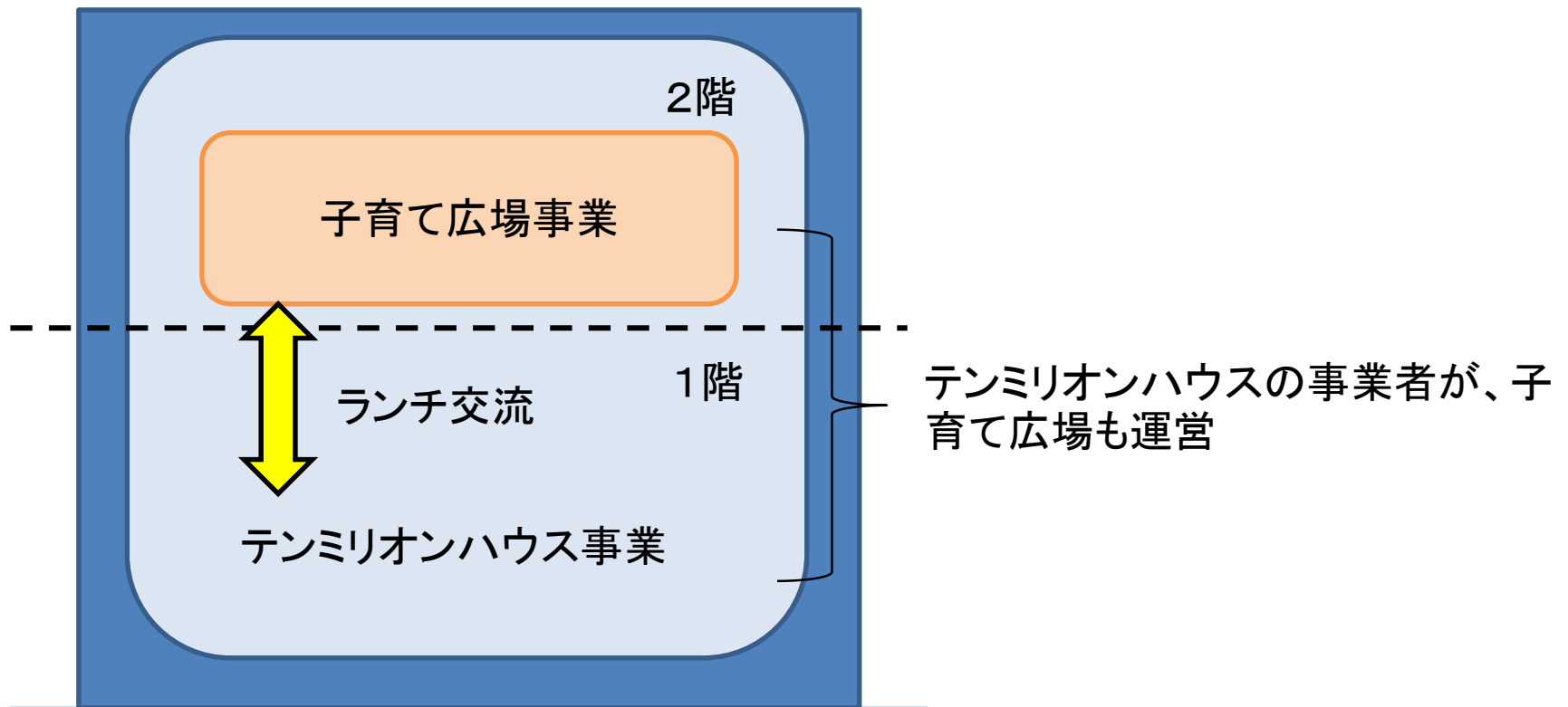


## 事例① すくすく泉



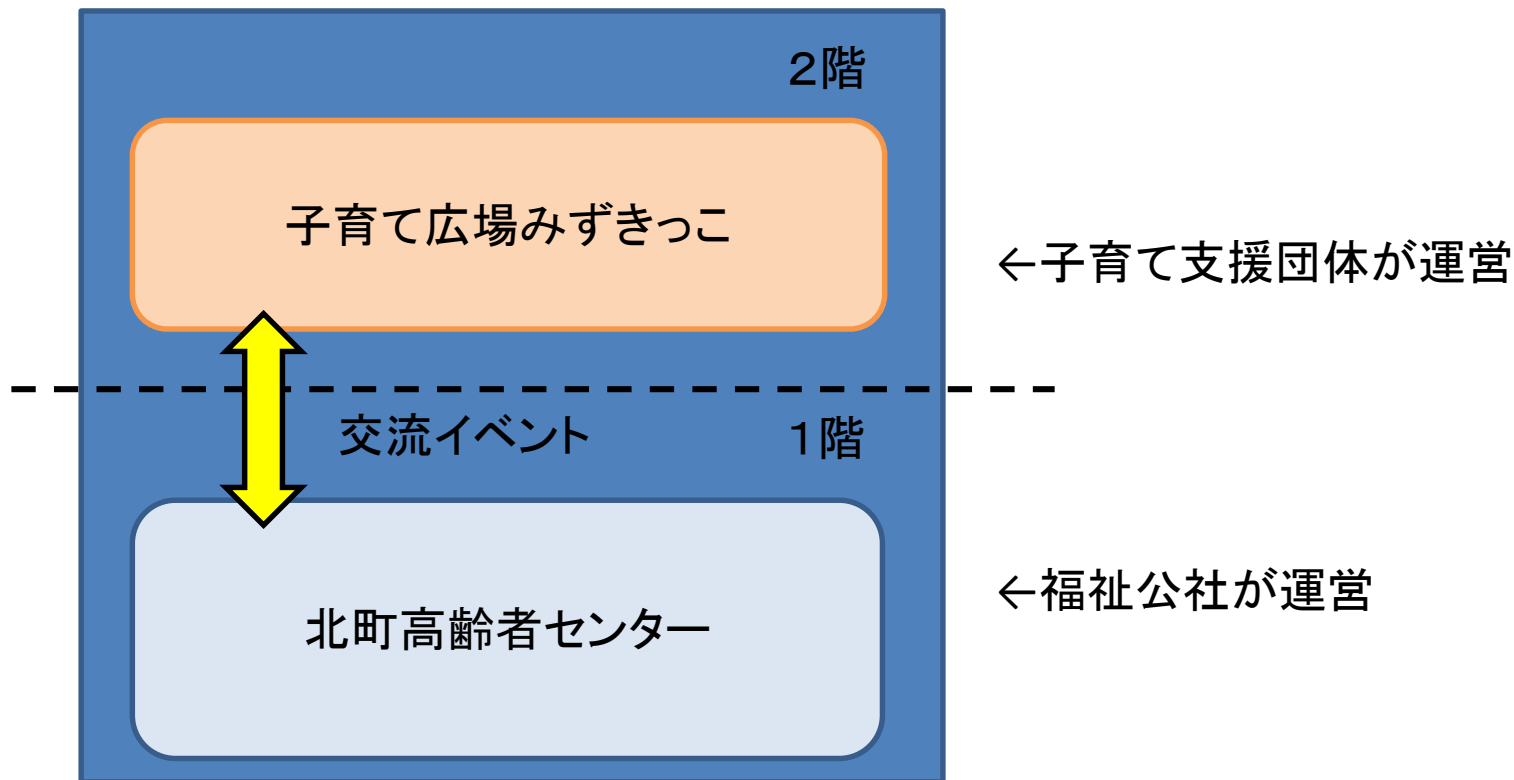
- 利用者は乳幼児親子に限られるが、ニーズに応じてどのサービスを利用するか選ぶことができるため、同じ場所、スタッフで様々なニーズに応えることができる。

## 事例② テンミリオンハウス花時計



- 基本的には親子と高齢者が別の空間で過ごし、ランチのみ時間と空間を共有することで、ほどよい距離感がありつつも世代間交流が実現している。
- 高齢者の利用が困難な2階を親子の場とすることで、建物の有効活用につながっている。

### 事例③ 北町高齢者センター、みずきっこ



- 通常の事業はそれぞれの運営主体によって実施されるため交流することはないが、お互いの協力により不定期で交流イベントが開催されている。
- 子どもの作品を高齢者センタースペースに展示するなど、直接交流がなくても雰囲気を感じられる仕組みがある。
- 各事業者の得意分野での運営ができるため、ノウハウを生かしやすい。